

国際基督教大学 特別学習支援室

FDセミナー

FDと連携して、2005年より12月の「障害者週間」に教職員向けに「障がい学生支援」についてのセミナーを開いています。毎年、障がい学生本人から授業の様子や受けている支援、それに要望を直接聞いてもらう場として機能しています。

前回の2007年12月5日に開催されたFDセミナーでは、学生の声を直接教職員に聞いてもらおうと留学生と3年生の難聴の学生に話してもらい、学内の事情と支援が進んでいる海外の事例も教職員に紹介されました。



去年のFDセミナーではシェフィールド大学から1年間短期留学で来ていた留学生からイギリスでの聴覚障がい者の就学状況と地域支援、大学での修学支援環境について話してもらいました。

実際、補聴器を使いながら普通に口話で会話ができるのですが、イギリスでは地域行政の段階から障がいに適した支援を受けられる上に、大学からは、障がいの度合いに合わせて、人的支援だけではなく機具の貸し出しなども保障されているそうです。

この話から多くのことを得ました。又、イギリスの進んだ支援が羨ましくもあり、理想の支援像に感じました。

聴覚支援の取り組みに関する 難聴者側からの提言

語学科・社会科学科専攻3年
Third-year Student, Interdisciplinary Major
in Division of Languages and Social Sciences

難聴の3年生の学部生が授業の中で困難に感じていることや主に教員に対する要望を話してくれました。教員側から少しの配慮があれば大きな影響を生むという話もありました。

ICUで初めて利用したノートテイクについても話してくれました。

教職員からの感想として、学生からの話は普段気付かないことばかりで、学生からの要望と修学支援について必要なことが分かってよかったという声が聞かれました。又、シェフィールド大学の支援についても質問があり、関心の高さも伺えました。

FDセミナーで成功になりそうな鍵は・・・!?

- 支援にたずさわる教職員が直接話すより、要望がある学生が直接話した方が効果的
普段、困っていることや授業やキャンパス生活での実体験をそのまま伝えるので、教職員も具体的な話ばかりで実感があって分かりやすく対策が立てやすいようです。実生活で頑張っている学生の生の声に勝るものはないということだと思います。
- 授業で受け持っている教員の先生の話も参考になります
いきなり「障がい学生支援」と言われても、教員も分からないことが多いです。過去に障がい学生を受け持った教員が授業や試験で注意することや、どのタイミングで支援が重要になるのか話をしてもらえれば、聴いている方にとって大変参考になります。
- 他の企画も一緒にあると更に集客に効果抜群!
企画が1つよりも2つ、しかも関心が高い内容だと、スケジュールに入れやすいですし大勢の人が聴きに来てくれます。他に学生・教職員の関心を高めようと新入生オリエンテーションや大学祭などで「障がい学生支援」について話をする時間を設けてます。

サポーター向けスキル養成研修

障がい学生支援に携わる学生にサポーターとして登録して活動してもらう制度があります。サポーターはボランティアやアルバイトだけではなく、サービス・ラーニング活動を希望して、一定の要件を満たした場合は、サービス・ラーニングの実習科目の単位を与えられる可能性があります。

普段、サポーターにとって学んだり支援スキルについて習ったりする機会が余り身近にないので、学内の支援を促進しようと今年の5月に主にサポーターを対象とした様々な研修講座を開催しました。

Special Needs Support Services SNSS

支援スキル養成研修 各種研修講座の紹介

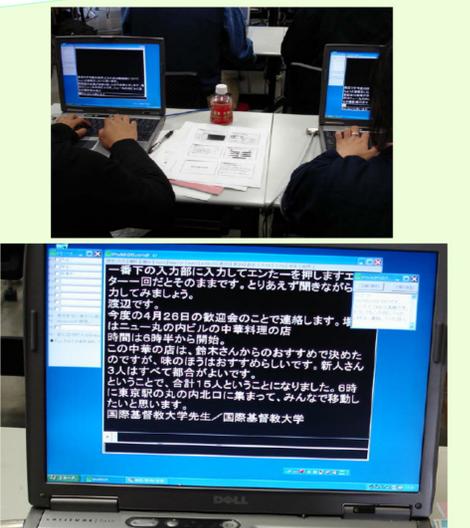
- 概論 (教養科目「サービス・ラーニング入門」の一環)
 - 自立サポート概論 (自立生活センター・立川)
聴覚障がいの方を含めて日常生活を中心に話していただきました。
 - 授業内支援概論 (東京大学・伊藤聡知氏 / 現 富山大学)
実際に授業内支援の基礎について話していただきました。
- 障がい別支援スキル養成研修
 - 聴覚障がい学生支援スキル
 - 手書きノートテイク (筑波技術大学・中島亜紀子氏)
ノートテイクの基礎をお話いただいてから実際に体験しました。
 - パソコン要約筆記 (筑波技術大学・萩原彩子氏)
パソコン要約筆記の基本とIP-Talkの使い方を学んでから、実際に2人1組で交代しながら要約筆記をしてみました。
 - 肢体不自由学生支援スキル (自立生活センター・立川)
 - 視覚障がい学生支援スキル (ICU 点訳サークル)



ノートテイクのやり方をDVDで見ながら熱心に学んでいます。実際にやってみて、コツが分かった学生は結構上手に書けていました。



例文を聞きながら、初めてのパソコン要約筆記体験！やっぱり、話を聴きながら文章を入力して、代わる代わるやるのは大変みたいです。実際の授業で模擬練習などをして練習の積み重ねが必要そうです。



その他の工夫：オフィス・アワー制度

近年、教員がオフィス・アワーを持つのは珍しくありません。その制度を「障がい学生支援」でも取り入れています。障がい学生の要望により決められた時間に特別学習支援室にサポーターが待機して、障がい学生がその時間に行けば、支援を受けられるようになっています。希望する支援が受けられるので、卒論の手伝いや急な課題発表の支援など重宝されていて、情報保障支援もできる内容・時間に融通が利く支援体制です。本当にお勧めです!



問い合わせ先

国際基督教大学(ICU)特別学習支援室 担当者名 宗像 孝 (火曜 10時-17時在室)
連絡先 (0422-33-3352/ snss-office@icu.ac.jp [munakata@icu.ac.jp])